

令和6年度 取組概要（令和6年4月～12月）

1 東海市教育委員会

(1) 東海市不登校対策協議会の開催

○第1回、第2回の会議において、東海市の現状を報告し、対策協議会委員からは現状を踏まえた専門的な見地から不登校の問題にかかわる対策の検討、今後に向けた提言など、幅広く意見をいただいた。

(2) グループ支援活動の推進

○昨年度及び本年度不登校傾向あるいは不登校として報告されたすべての児童生徒について、担任を中心として複数の教職員等や専門職、教育医専センター「ほっと東海」の職員を交えたチームを編成し、個々の状況に応じた支援を行った。不登校児童生徒の状況を月例報告としてまとめ、現状を把握した段階で、管理職、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の相談員等の専門職も含めて情報を共有し、早期に対応を図ることにより、有効な手立てが講じられるケースもあった。

○教育委員会では、年度初めに指導主事と教育相談員、スクールソーシャルワーカー、「ほっと東海」の職員と各校を巡回し、現状の把握と指導助言を行った。月例報告により現状を把握するとともに、校長会議等を通して現状を共有し、傾向と対策を伝えた。また、必要に応じて各校の担当者に個別の支援の在り方について助言をした。

(3) 学校の居場所づくり事業（心の相談員：平成24年度から実施）

○不登校傾向の児童生徒数や学校規模等に応じて小学校7校と全中学校に、養護教諭の資格を持つ心の相談員を配置し、学校や教室に入りにくかったり集団になじめなかったりすることにより、保健室に来室した児童生徒を中心に相談活動を行った。

(4) スクールカウンセラー派遣事業（小学校巡回）

○県のスクールカウンセラー配置（6中学校＋拠点校：名和小・横須賀小・加木屋南小）に加え、市単独予算により、4人のカウンセラーを継続配置した。4人のカウンセラーは市内9小学校を分担し、精力的に相談活動を進めてきた。

(5) スクールソーシャルワーカーの配置（令和２年度から配置）

- 不登校対策として、主に家庭的要因を背景にもつ子どもの支援をするために、様々な機関と連携を図り、家庭と子どもを支える支援に取り組んだ。
- ３名のスクールソーシャルワーカーを名和中学校、平洲中学校、横須賀中学校を拠点校区としてそれぞれに配置し、他の学校区については、要請を受けて派遣するという形で対応した。各校の不登校担当者を中心に情報共有し、行動連携を図り、個々の状況に応じて対応できるよう努めた。

(6) 教育支援センター「ほっと東海」の運営（平成４年度から実施）

- 令和６年４月より３教室目となる平洲中学校教室を開設した。横須賀教室、上野公民館教室、平洲中学校教室それぞれに教育相談員、教科指導員、サポーターを各１名配置し、学校をはじめ、不登校児童生徒の支援者と連携し、不登校児童生徒の学習指導や自立支援活動を行った。
- 市内１８小中学校と連絡を密にとることで相互理解と協力体制作りを促進し、個々の事例に適切に対応できるように努めた。

(7) 電話相談、窓口相談

- 学校教育課、教員研修センターそれぞれに教育相談員を配置し、窓口相談、電話相談に応じた。必要に応じて、学校教育課担当指導主事や各校の教頭や不登校担当者等と情報共有や行動連携を図った。

(8) 青空教室の開催

- 不登校児童生徒の心を開き、人間関係を築く力や自立性、社会性を育むため、参加者同士や施設指導員、学生ボランティアとの交流及び宿泊を伴う野外活動を行った。

【国立若狭湾青少年自然の家で９月１４日（土）～９月１６日（祝月）に実施。参加児童生徒１５名（小学生３名・中学生１２名）】

(9) 子どもの自立と未来を語る会の開催

- 不登校生徒とその保護者が中学卒業後の進路選択だけでなく、その先の人生や生き方を見つめ、考えることを目的とし、不登校経験者や不登校を経験した子どもをもつ保護者の話や中学卒業後の進路に関する話を聞いたり、進路について相談したりする場とした。

【８月３日（土）に実施、市内外の生徒・保護者・学校関係者７５名参加】

(10) 教員研修

○教員および心の相談員の資質向上を目的として、不登校対策等につながる研修会を開催した。

・教師力向上研修（いじめ対応含む）

4月5日（金）・4月9日（火）・4月11日（木）講師：教育相談員
「学級経営・児童理解・授業づくりのポイント」

7月30日（火）講師：山田 貞二（岐阜聖徳学園大学）
「道徳科の授業づくり

～山田貞二先生の模擬授業と解説を通して考える～」

7月31日（水）講師：野尻 紀恵（日本福祉大学）
「教育と福祉の連携

～スクールソーシャルワーカーと協働する意味～」

8月 5日（月）講師：川上 康則

（立教大学兼任講師および杉並区立済美養護学校 主任教諭）

「安心と信頼のある教室づくり」

8月20日（火）講師：玉置 崇（岐阜聖徳学園大学）
「子どもたちがつながり高め合う教育活動の推進

～一人一台端末の活用も踏まえて～」

8月23日（金）講師：山崎 文宏（星城大学）

「通常の学級における支援の必要な子どもとの関わり方と学級経営」

2 その他

(1) 不登校を考える「親の会」

○不登校児童・生徒の保護者や関係者を対象に、スクールカウンセラーの協力を得て、まなぶん横須賀にて開催した。

【原則毎月1回定期開催（第3木曜日）】※8月を除く

(2) 校長会担当研究組織「不登校対策担当者会」

○定期的に各校の取組や情報交換を、不登校担当者や養護教諭を中心に行った。
第2回には、本研究会のアドバイザーである、日本福祉大学 野尻紀恵教授による研修会を開催し、「みんなの居場所づくり」をテーマに子どもとの関わり方について研修した。

【6月28日（金）、11月15日（金）、1月28日（火）】

(3) 知多地方教育支援センター連絡会議

○知多地方五市五町の教育支援センターの職員が集まり、教育支援センターのあり方について意見交換するとともに、情報交換を行った。

【6月14日（金）、11月28日（木）】